

TIC NEWS

vol. **83**
2007.4

(財)とやま国際センター

〒930-0856 富山市牛島新町5-5

インテックビル4F(タワー111)

TEL (076) 444-2500

FAX (076) 444-2600

E-mail: tic@tic-toyama.or.jp

URL: <http://www.tic-toyama.or.jp>



地域みんなで楽しむ“日本語教室”

昨年5月から射水市南太閤山公民館でおこなってきた日本語教室。100人近い外国籍の県民がこの場を訪れ、日本語学習、日本語ボランティア及び他の受講生との交流を楽しみました。外国籍県民の集住地区である太閤山に日本語学習を中心にした新しい交流の場が誕生しました。

NOWPAP RCU 富山事務所

インテックビル前に鮮やかに翻る国連旗をご覧になったことはありますか？この国連旗は、日本海側で初めて設置された国連機関、NOWPAP RCU富山事務所がここにあることを示しています。

NOWPAP (Northwest Pacific Action Plan : 北西太平洋行動計画) は、北西太平洋地域(具体的には日本海と黄海)の海洋環境の管理と海洋・沿岸地域の資源の管理を目的として、1994年に採択された計画です。現在、日本、韓国、中国そしてロシアの沿岸4カ国が参加しています。NOWPAPのような取組みは、ほかに、地中海、カリブ海、黒海など世界17の地域で進められています。

NOWPAPが対象とする北西太平洋地域は、様々な海洋生物に加え、商業的にも重要な漁業資源が存在する独自の生態系を持っています。一方、この地域は世界でも有数の人口密集地域であり、経済発展の著しい地域でもあることから、環境への負荷が益々大きくなっています。

このため、地域の住民が長期にわたって海の恩恵を享受し、子孫のために地域の環境が守られるよう、関係各国が参加・協力するNOWPAPの取組みが重要です。

富山にあるRCU(Regional Coordinating Unit : 地域調整部) は、NOWPAPの「本部事務局」として、事業の調整、各種会合の開催、参加各国や国際機関との連絡調整などを行う、NOWPAPの活動の中核を担う機関で、2004年11月に富山と韓国・釜山に共同設置されました。

RCU富山事務所の本格稼働から2年余り経過しましたが、この間、2005年11月の第10回政府間会合をはじめ、多くの国際会議等を富山で開催するなど活発な活動が展開されています。また、従来英語版だけだったホームページも、日本語版 (<http://www.nowpap.org/jp.php>) をはじめ、参加各国語版が開設され、より積極的なNOWPAP活動の普及・啓発活動も進められています。

とやま国際センターでは、県・市と共に、このRCU富山事務所の運営を通して、NOWPAPの活動を支援しています。



ロシア語通訳者セミナー

日時：平成19年2月18日(日) 13:00~16:00

場所：環日本海交流会館

講師：吉田 差和子 ((株)インターグループ)



講師：吉田差和子氏▶

富山県とロシア・ウラジオストク間には定期航空便、定期貨客船が就航しており、ロシア国籍者の滞在者が多く、中には交通事故や病気で入院する方も少なくありません。このような状況に対応するべく、とやま国際センターでは、人材育成の一環としてロシア語通訳者セミナーを開催し、当センターの国際交流人材バンク登録者など16名が、ロールプレイなどで実際の通訳を想定した場面での研修を受けました。

<通訳に関する質疑応答>

Q. 当事者が通訳の存在を無視して話す。どのように対応したらいいだろうか？

A. 通訳が難しいことを相手に認識させてください。会話の速度と情報量を指定するといいい。

Q. 通訳をしていて分からない単語がでてきて頭の中が真っ白。どのように対処したらいいのか？

A. これは慣れです。事前に通訳する分野の情報収集が大事です。

Q. ロシア語のレベルを維持するために、毎日どのようなことをしているか？

A. 毎日練習していることはない。ただ定期的に正しい日本語を使うように仲間と訓練している。ニュースを通訳する練習も個人的にしている。

<吉田先生からのアドバイス>

通訳はいろいろな出会いがあり世界が広がります。皆さんも通訳を通して自分の世界を広げてください。

国際交流員より離任のご挨拶

崔 明華さん (中国)

昨年4月に着任した時は、期待と不安でいっぱいの私を松川の満開の桜が迎えてくれましたが、あっという間に夏、秋、冬と四季が移ろい、テレビではもう桜前線の便りを知らせています。いよいよ大好きな富山の一つ一つとお別れする時が来たのです。澄んだ空、きれいな海と水、美味しいお米と魚、美しい自然と優しい四季、そして穏やかで親切な人々…と。

この1年間に得た経験と感動は計り知れません。私の仕事は翻訳・通訳、語学指導、学校訪問、講演、生活相談、防災ラジオ出演、イベントの企画・実施等、非常に広範囲にわたる内容でした。初めての体験で最初は少し戸惑いましたが、皆さんに支えて頂きながら挑戦するうちに、自分も成長しやがて大きな楽しみになりました。また、人々と出会い、触れあう中で、温かい人情に深く感激したりしました。自分の人生、価値観を顧みる機会にもなり、もっと自分らしく生きることの大切さが分かりました。

素晴らしい経験ができた幸運と、応援して支えて下さった全ての方々から感謝しています。おかげさまで富山の日々は充実したかけがえのない一生の宝物になりました。富山で築いた交流の輪を帰国後も大切にしていきたいです。皆さん、ありがとうございました。いつまでもお元気で！またお会いできる日を楽しみにしています！



前田 シンチャ 由美さん (ブラジル)

"Adios muchachos companeros de mi vida (さようなら、私の人生の仲間たち)" 富山を去る日が迫ってくるこの頃、タンゴ歌手カルロス・ガルデルのこの歌がよく頭に浮かんできます。寂しい気持ちを抑えるため踊りたくなりますが、実は踊りはうまくありません！（一応ブラジル人なのですが……）

3年にわたる富山での出会いや経験の全ては私にとってかけがえのない宝物です。人生の喜び、悲しみの中に成長するきっかけを掴めれば、人はさらに良い人間になることができますね。

国際交流員は、貴重な体験ができる仕事です。私の場合は翻訳業務が多かったので、より深く日本語を勉強できました。また外国人生活相談業務を通して、在住ブラジル人のことをより良く理解できました。また、人と接する仕事が多いので、苦手でもなんとかコミュニケーションを取らなければなりません。このようにさまざまな文化や習慣を分かち合うことにより、自分自身や人間というものをさらに深く理解することができました。

思い出はさまざまですが、雪をかぶった立山連峰が最も印象深く、言葉にできないほど感動しました。素朴で雄大な立山の前に、皆様が笑顔で立っているイメージを心に焼きつけ帰ります。大変お世話になり、ありがとうございました。



李 昇妍さん (韓国)

着任したのが昨日のこのようですが、1年の任期を終え、今お別れの挨拶をしていると思うと不思議な気持ちです。

憧れていたJETプログラムに参加し、一度も来た事のない富山へ来ました。

国際交流員として、通訳・翻訳、韓国語講座、学校訪問、防災ラジオの収録などの仕事をしました。韓国での教師時代にはできなかった経験です。韓国語講座はとても楽しく母国語として何気なく使っている言葉を皆さんに教えることで改めて自分の勉強になりました。また、自分の国の言葉を一所懸命勉強している受講生を見て、胸がいっぱいになりました。帰国後は、日本語教師として前の学校に戻りますが、この経験を生かして、日本語や日本の文化について一所懸命教えたいと思います。

富山で一番印象的だったのは温かい人の心でした。着任1ヶ月後に元気だった母が急に病気で倒れて、しばらくの間帰国していました。日本へ戻ってからも、家族の事が心配で胸にぽっかり穴が開いたようでした。しかし、周りの人たちから温かい言葉や応援をもらって深い悲しみに耐えられました。富山の人の優しさは一生忘れられないと思います。またいつか出会える日を祈りながら、挨拶を終わりたいと思います。アンニョンヒケセヨ（さようなら）。



～とやまに広げよう！

地域日本語学習の“わ”～

“日本語を習いたい” 外国籍の方と、“日本語ボランティアをしたい” という県民の皆さん。2つの思いを繋げたい…という気持ちで進めてきた(財)とやま国際センターの日本語関連事業。平成18年度はこの活動経験を元にボランティアの皆さんが日本語指導に活用できる、地域ボランティア日本語教室のための活動集を作成しました。



親子3世代の参加も
保育サポーターさんの
支えがあってこそ！

平成18年5月から射水市太閤山で始めた日本語講座は、入門クラス、初級クラス、学科支援クラスの3つのクラスからなり、毎回たくさんの受講者とボランティアの皆さんが和気藹々とした雰囲気の中で学習しました。実に20カ国以上の様々な国からの参加者の皆さんが集まり、時には各国文化、料理を紹介しあい、とても彩り豊かな教室となりました。

この講座では、“生活の中ですぐに役立つ日本語を見につけよう” をモットーに、近所づきあい、緊急時の対応、子育て……など富山の日常生活の中の疑問点、悩みなどを話し合う中で日本語のスキルアップを目指しました。

また学科支援クラスでは、「日本語は話せるが教科書の用語が理解できない」、「引越してきたばかりで日本の学校のことがよくわからない」などの小学生から高校生までが集まり、ボランティアの皆さんの支援を受け、学習しました。

好奇心いっぱいの受講生、元気いっぱいの日本語ボランティアがお互いに楽しみ、学んだ実りたっぷりの11ヶ月となりました。

日本語講座

ボランティアPC講座も
行いました！

忘年会でプレゼント交換
する学科支援クラスの
小学生



南太閤山文化祭で
日本語教室を紹介する
受講生のアウラベナさん

オーっ！
ビューティフル!!
これぞ日本の美



亀井あつこさん (ボランティア代表)

毎週土曜日、南太閤山公民館に6時半をすぎた頃から、「こんばんは～」の声とともにメンバーが集まり出します。1週間毎のこの活動が、いつのまにか切り離せないボランティアの生活パターンになってしまいました。

日本人も外国人の人も、お互いに暮らしやすい地域であることを願って、互いの文化を尊重しながら、この日本語教室に参加しています。

“今日はどんな活動をして、どんな表現、言葉を取り入れようかな？……” “担当ボランティアは1週間頭を悩ませます。そして当日は参加者みんなが持ち味を大いに発揮して、クラスを盛り上げてくれます。太閤山教室は4月から“ワイワイ・にほんご たいこうやま”として引き続き活動していきますので、是非皆さんのご参加お待ちしております。

【ワイワイ・にほんご たいこうやま】

日 時：毎週土曜日 PM7:00～8:30 (第1土曜日は休み)

場 所：射水市中太閤山13丁目3番地1 南太閤山公民館

受講料：1回300円 問い合わせ先：射水市民国際交流協会 0766-84-4071



シルビア・ソウザさん (ブラジル)

私は夫と子供3人で射水市に住んでいます。私が入っていないのに日本に着いたその日からここはうかがしました。私の心が“ただいま”というのにと返事してくれているようでした。来てもう5年ラジルへ帰ろうかと思う度にやっぱりここに留ま。こは天国という訳ではなく、問題も確かにあります。か見なされておらず、行事などからも除外されて。今は社会の一員として健康保険に入り、年金に加。た。そして最も大事なことは日本語の勉強です！

太閤山教室では初日から様々な国から来た受講生に私達に教えてくれました。子供の教育まで。この教室は単なる語学講座ではなく、外国人に日常。れる人、友達の集まりです。私は身の回りに起こ。学習を続けます。ボランティアさんがホッと一息。ったな”と微笑んでくれるまで。

お問い合わせは
発行元 とやま国際
センターまで！

堂々ここに誕生！ 越中とやまのよく効く日本語 “しゃべらんまいけ”

「どうして日本人はいつも忙しそうなの？」「地震って何？私の国にはない！」こんな言葉が飛び交う太閤山日本語教室は、外国人と日本人の間に、また日本人同士に言語・知識・情報のやり取りだけではなく、「豊かな面白いこと」がたくさん起こる、まさに相互学びあいの場です。外国人にとっても日本人にとってもワクワクする日本語学習ができています。また、このような相互学習型クラスをしていくことが、外国人参加者の日本語を充実させていく早道だと実感しています。その上日本人ボランティアの「良い所」を従来よりもっと生かせることも分かりました。

富山ならではの話題をいっぱい盛り込んだ「越中富山のよく効く(聞く?)日本語」の教科書(活動集)です。お使いの上、温かく厳しいご意見を沢山頂けたらと思います。

執筆者 トヤマ・ヤポニカ代表 中河和子



には日本人の血は
自分の居場所とい
誰かが“おかえり”
になります。ブ
ろうとってしまいます。といってもこ
す。時々自分達が単なる労働力としてし
いるような気がするの悲しいことです。
入し、家を購し、永住ビザもとりまし

者に会い、ボランティアさん達が一生懸
アしてくれて本当に感謝しています。こ
生活の様々なことを教え、手助けしてく
る全てのことを理解できるように日本語
ついて “あゝシルビアはやっとうまくな

ボランティア養成講座

平成18年度は入門編、ステップアップ編、にほんご基礎知識編
を行い、述べ57人が受講しました。

講座では、県内の外国人の実態を踏まえた上でどんな支援が必要とされているか、また外国人と日本人が相互理解のために使う
“わかり合う日本語”とはいったい何だろう？ということを中心に
なで考えました。



平成19年度とやま国際センター

日本語講座、日本語ボランティア養成講座の開催予定

平成19年度は氷見市にて日本語講座、日本語ボランティア養成講座を開催予定です!!

【生活支援日本語ボランティア養成講座】

●氷見会場

日 時：5/12、5/19、5/26、6/2 13:15~16:15
場 所：氷見市ボランティア総合センターワークルーム
氷見市中央町12番21号 氷見市いきいき元気館内
定 員：10名程度 受講料：3,000円

●富山会場

日 時：6月～(予定)
場 所：環日本海交流会館 富山市内幸町6-6
定 員：30名程度 受講料：3,000円

【日本語教室 in 氷見】

日 時：6/9～ 毎週土曜日 10:00~12:00
場 所：氷見市ボランティア総合センターワークルーム
氷見市中央町12番21号 氷見市いきいき元気館内
受講料：1回300円

申込み：(財)とやま国際センター

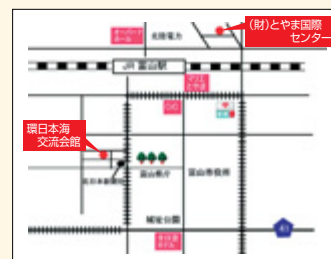
〒930-0856 富山市牛島新町5-5 インテックビル4階

TEL 076-444-2500 FAX 076-444-2600

E-mail: tic@tic-toyama.or.jp

URL <http://www.tic-toyama.or.jp>

*住所、氏名、電話番号を明記の上、上記にお申込みください。



JICA 国際協力推進員 新旧交代のご挨拶

離任のご挨拶

井川 文男



青年海外協力隊員として活動していたラオスから帰国後、JICA国際協力推進員として3年間活動してきましたが、気がつくやうに推進員として活動していた期間が、協力隊員として活動していた期間よりも長くなっていました。

3年前、この仕事に就いてから気がついたことは、協力隊のように「海外でできる国際協力」だけではなく、日本の国内でもたくさんの国際協力に関わる仕事があり、国内で活動しながらも大きな国際的視野を持って活動されている富山県民の方々为本当に多いということです。3年間、本当に皆さんから学ぶことが多い日々でした。

今後は1人の富山県協力隊員OBとして、“Think Globally, Act Locally”（地球サイズで考え、地域で行動する）を目標に富山県での国際協力事業のお手伝いをしていきたいと考えています。

就任のご挨拶

宮本 幸子



今春から、富山県の国際協力推進員をさせていただく事になりました、宮本 幸子です。

私は青年海外協力隊員として、2004年4月から2006年4月まで、南米ボリビアで自動車整備の指導をしていました。任地では、職業訓練校で現地の教師や生徒達と共に過ごしてきました。その中で、見たものや経験したこと、感じたこと、彼らから受けた優しい気持ちを、今度は日本に還元していこうと考えています。

この国際協力推進員の仕事を通じて、たくさんのコミュニティで色々な人と出会い、多くの人の和を作っていきたい、と思っています。また、現在隊員として活躍されている方や、これから隊員になりたいという方のサポート、まだ協力隊を知らないという方達にも協力隊活動を広く知っていただけるよう、活動していきたいと思っています。

JICAボランティア元隊員からの現地レポート

今回は、ホンジュラスで青年海外協力隊の村落開発普及員として活動した後、現地の日本大使館で働いている坂下静香さんの活動レポートを紹介します。

2006年4月より在ホンジュラス日本大使館で「草の根・人間の安全保障無償資金協力」の外部委嘱員として働いています。ホンジュラスの地方公共団体やNGOなどの機関が実施している小規模なプロジェクトへ日本が資金援助をする際の、調査をしたり、支援をしたりしています。

ホンジュラスでこの資金協力を多く受けているのは小学校の建設で、老朽化のため倒壊しそうな小学校や、教室が足りなく屋外や近くの公民館などで子供たちが授業を受けているような小学校の環境改善のプロジェクトです。

ホンジュラスと日本ではこのような小学校100校を改善するための



取り決めをしており、これら

の学校を「米百俵学校」と名づけています。私は地域住民らに対し、「米百俵」とは何かを説明することもしばしばあります。こんなとき、自動車や家電のメーカーでしか日本を知らないホンジュラス人は、日本にも貧しい時代があったことに驚き、日本をととても身近に感じてくれます。

米百俵学校は、地域住民によって建設されます。自分のお父さんやおじさん、お兄さんによって造られた小学校で子供たちが勉強できるよう、暫くの間はお手伝いしていきたいと思っています。



坂下 静香さん

Voices from the World ~アメリカ合衆国・ロサンゼルス~

世界の富山ファンからのメッセージ

西條 幸子 さん (サンディ・サイジョウ不動産 代表取締役)

Q. 今、どんなお仕事をされていますか？

A. 私は、1985年よりカリフォルニア州のライセンスを取得して不動産業をしています。この仕事も長くなり、今ではごく短時間で仕事を片付けてしまうので、私の事をクラッカー・ジャックと呼ぶ顧客もいます(笑)。常にこの分野の達人でありたいと思っています。庭では野菜も作っていて、“芭蕉”という名の穏やかな愛犬と散歩するのが日課です。(＊クラッカー・ジャックはアメリカで人気のポップコーンのキャラクターで、“優秀な人”の象徴になっています)

Q. ロサンゼルスについて教えてください。

A. 最低賃金が上がっていて時間給10.25ドルになりました。値上げについては違法労働者からも抗議があったほどで、最近ロサンゼルス市役所から承認されたものです。これは以前よりはずっと高い額で、この傾向は連邦政府にも広がっていくでしょう。このように労働者階級、または彼らを支援する人々が、共に社会の底辺を変革しようとする姿は見応えがあります。

Q. 富山とはどんな結びつきがありますか？

A. 高校時代までを高岡で過ごしていますので富山は私のバックグラウンドそのものです。雪、田舎の暮らし、貧しさによって教育が受けられなかったこと、厳しい仕事……これらの事は今グローバルな視点で多種多様な文化を考えるときの礎になっています。

Q. 最後に富山の人に一言メッセージをお願いします。

A. 地方中核都市でも優れた教育を施し、リーダーとなる資質、先見性をもっていることに自信をもってほしいと思います。学ぶこと、そして、人生の本来の意味を理解することが大事です。アメリカではどこの学校を卒業したかということは誰も尋ねません。子供にも何のために勉強するのか、何が人生で大事なことを早い段階で教えることが大切です。お互いを啓蒙し、開かれた心をもつこと。そして自由な自分であることです。これはやはり一番幸せな人生といえると思います。



サンディさんと愛犬“芭蕉”（自宅の庭にて）

とやま発 地域日本語教室リレー

~今回は高岡市の高岡日本語教室をご紹介します~

アットホームな雰囲気毎週開催されている高岡日本語教室。受講生同士も仲がよく、普段は参加できなくてもバーベキューなどのイベントにだけ参加する“陰”の受講者もいるとのこと……ボランティア3名は全て青年海外協力隊経験者というのが特徴。豊富な海外経験で、時には寂しくなったりする外国籍市民の心を温かくフォローします。ボランティア、受講者の皆さんを募集しています！



代表者	室長 五箇 大成
活動場所	高岡市大町11-4 高岡市川原町公民館
TEL	0766-27-1856
FAX	0766-27-1858
E-mail	kokusai@pl.tcnet.ne.jp
講師	ボランティア3名
学習者人数	約20名 約5カ国
活動日時	毎週日曜日 19:00~20:30
参加費用	入会金1,500円、月会費500円

フライドキャロットケーキ

シンガポールのフライドキャロットケーキは、いわゆるケーキではありません。そして人参も全く使いません。この料理の主な材料は大根です。中国語では人参は「紅萝卜」、大根は「白萝卜」ですが、最初の間違えてそれぞれRed Carrot, White Carrotと英訳されたことがこの名前の発端です。ふんわりした食感で、もともとは朝食としてよく食べられましたが、今では朝食以外にも食べられます。



～作り方～

1. 大根を1/4カップの水で10分程度煮た後、冷まして水を切る。
2. 大根、小麦粉、上新粉、干エビ、水200mlを混ぜ合わせる。
3. 2を容器にいれ、蒸し器で約30分中火で蒸す。
4. 3を冷ます。(できれば一晩冷蔵庫に置いておく。)
5. フライパンを熱し、ごま油でみじん切りしたにんにくを茶色になるまで炒める。
6. 適当な大きさに切った4を入れ、焼き色がつくまで炒める。
7. 溶き卵をからめて軽く焼く。
8. ネギを添えて出来上がり。



～材料～

- 大根(千切り).....300 g
 小麦粉.....60 g
 上新粉.....60 g
 干エビ.....20 g
 (水でも戻した後、水気を切り粗く刻んだもの)
 卵.....2 個
 細ネギ.....1 本
 にんにく.....大さじ1
 ごま油.....少々

TICからのお知らせ

これからの行事予定

イングリッシュ・アドベンチャー (*高校生対象の英語講座)

5月21日～7月9日 毎週月曜日
 富山県国際交流センター 研修室A

ブラジル一日総領事館

6月3日(日) 9:00～(予定) 高岡市本丸会館

JICAボランティア H19年度春募集 4月10日～5月25日

【募集説明会：青年海外協力隊】

① 4月5日(木) 19:00～21:00
 富山県国際交流センター 研修室A

② 4月14日(土) 14:00～16:00
 サンシップとやま 703号室

③ 4月24日(火) 19:00～21:00
 富山県国際交流センター 研修室A

【募集説明会：シニア海外ボランティア】

① 4月14日(土) 10:30～12:30
 サンシップとやま 703号室

【ボランティア個別相談】 とやま国際センター

① 5月15日(火) ～20:00まで
 ② 5月17日(木) ～20:00まで

“とやまライフハンドブック” 改訂版発行

富山に住む外国籍住民のための生活ガイド。内容もさらに充実し、英語版、ポルトガル語版(日本語併記)がこの度改訂されました！

ただいま無料配布中！



(財)とやま国際センター賛助会員募集中！

国際交流・協力事業にご支援いただけるようお願いいたします。

年会費(1口) 個人会員 3,000円
 団体会員 30,000円

* 賛助会費に対しては税法上の優遇措置があります。

平成19年度語学講座のご案内

場所：富山県国際交流センター 研修室 (インテックビル4階)
 時間：18:30～20:00

講座名	開催期間	曜日	受講料	対象	定員
中国語(入門)	5月25日～3月21日(35回程度)	金	10,000円	初心者	40名
中国語(初級)	5月28日～3月17日(35回程度)	月	10,000円	1年程度学習された方	40名
中国語(中級)	5月30日～3月19日(35回程度)	水	10,000円	2年程度学習された方	15名
韓国語(入門)	5月29日～3月18日(35回程度)	火	10,000円	初心者	40名
韓国語(初級)	5月31日～3月13日(35回程度)	木	10,000円	ハングル文字が読める方	40名
韓国語(中級)	5月30日～3月19日(35回程度)	水	10,000円	2年程度学習された方	40名
ポルトガル語(中級)	5月28日～3月17日(35回程度)	月	10,000円	基礎を学習された方	15名
ロシア語(入門)	5月25日～3月21日(35回程度)	金	10,000円	初心者	15名
ロシア語(初級)	5月30日～3月19日(35回程度)	水	10,000円	1年程度学習された方	15名